

# 活動ノート



3月24日(日)

カブトムシの森作業(A地区除伐)

10:00~15:00

◆参加者: 迫、鎌田、林、松雪、  
榊、川内、静間、中嶋、富永、本  
村、柴戸、篠原 計12名



◆内容: 体操をして現場へ向かい、  
伐採予定木を確認したあと3班  
に分れて作業を開始しました。

1班は休憩小屋正面のタブノ  
キ群が割り当てで、まず直径30  
cmの偏心した難物に挑戦しま  
した。ロープ、クサビを使用して  
の作業で、慎重に進めていたの  
ですが、狙っていたのとは違った方  
向に倒れ始めて掛かり木に。助っ  
人と共に何とか予定の方向に戻  
して伐倒できました。

2班は園内道路下のユズリハ、  
ヤブツバキなどを3人で伐採。ユ  
ズリハは径25cmと大物でこ  
ちらもロープを使用して伐倒方  
向の確保をしながらの作業とな  
りました。

3班は2人で湿地東側のタブノ  
キを伐採。こちらも25cmほど  
と大きかったのですが、直立して  
いたので普通に作業して目標方  
向にうまく伐倒出来ました。枝葉  
が多いので事後の作業が大変で

した。

午後からは伐採した木の処理を  
して、更にそれぞれ小もの、中も  
のを伐採しましたが、1班ではフ  
ジと思いき太いツルに引っかか  
って悪戦苦闘。一時はどうなるこ  
とかと思ったのですが、棒の先に  
ノコギリを括り付けてツルを切  
って無事伐倒完了となりました。  
時間が遅くなったので、処理は平  
日の特別活動に回すことにしま  
した。

人数が少なかった割には作業が  
はかどって、予定していた木は全  
て伐採できました。A地区での常  
緑広葉樹の大ものの除伐はあと  
1回でほぼ終了できそうです。明  
るくなった雑木林の下層にはム  
ラサキケマン、タチツボスミの  
花が咲き、マムシグサやウバユリ  
の芽が出ていました。

【ふりかえりより】

・ユズリハとヤブツバキを伐った。  
久しぶりの肉体労働が楽しかつ  
た。(林)

4月7日(日)

アカマツ林整備(落ち葉掻き、下  
草刈)、カブトムシの森植生調査  
9:30~15:30

◆参加者: 岩尾、菊池(潤)(泰)、  
松雪、本村、鎌田、迫(一)、柴  
戸、静間、榊、篠原、迫(盛)、  
小川R 計13名

◆内容: 準備体操後アカマツ林整  
備班とカブ森草本調査班に分れ  
てそれぞれの現場に向かいまし  
た。アカマツ林整備班は3班に  
分かれて作業しました。

1班はシダ、草刈を行った後、  
松葉掻きを行いました。掻いた落  
ち葉は、窪地に集めておきました。  
鎌を握らせたら人が変わったみ  
たいに草刈の場を広げていくメ  
ンバーもあり、予想以上にみはら  
しが良くなりました。

2班は前日の雨で地盤が緩ん  
でいることと、斜面が急だったこ  
ともあり、松葉掻きをしましたが、  
一部のメンバーは草刈も並行し  
て行っていたようでした。松葉掻  
きをしているといたるところで、  
実生の幼木(2~3年生)がみら  
れ、松葉掻きをして良かったなと  
感じました。

3班は旧堆肥ヤード跡に残っ  
ていた腐葉土などを整理して、休  
める場所を作りました。

休むと寒くなるので、昼食もそ  
こそこに午後の作業に入りました。  
そのおかげで予想以上に作業  
がはかどり、アカマツが元気に育  
つような気がしてきました。

カブ森調査班からは花等が少  
なく時期的に早かった、コドラ  
ート内の落ち葉かきをしたら良い  
かもとの意見がありました(特集  
記事参照)。

【ふりかえりより】

・あられが3回も降ってしまった  
が、達成感、はなまる。(本村)



4月20日(土)

### カブトムシの森作業(B地区除伐)

9:30~15:30

◆参加者: 迫、林、松雪、本村、静間 計5名

◆内容: 9時20分ごろからスタッフミーティングを始め、参加者が増えそうもなかったため、30分過ぎには4名で活動を開始しました。

カブ森に到着後、それぞれ単独で伐採にとりかかり、直径17cmのスダジイ、20cmのコズリハ、15cm程のヤブツバキなどを伐採しました。その後、遅れて参加した会員と共に、材処理を急いで、12時には余裕で終了できました。

足場の悪い環境での活動だったのですが、却って緊張感をもっていたからか事故、怪我はありませんでした。皆さん結構満足の活動だったようでした。雨が強くなってきたので昼食はセンターに戻ってとることにして、慌ただしく撤収しました。

午後からは道具の整理を兼ねて棚卸を行い、通常よく使用する道具をまとめて配置したり、使いやすい道具リストの検討をしました。

#### 【ふりかえりより】

・雨の中の作業もまた楽しかった。大満足でした。(林)  
・川沿いのヤブツバキも大分伐採が進み、スッキリしてきました。雨をもものともしない皆さんのパワーに感服です。(静間)

5月11日(土)

### カブ森新5か年計画

9:30~15:00

◆参加者: 鎌田、林、榊、岩尾、



川内、川上、山川、松雪、篠原、静間、新牛込、中嶋(午後)、村上所長、小川R 計14名

◆内容: まずレクチャールームでカブ森担当から進捗状況、現状などの確認がありました。それについて簡単に意見交換をしたところで、現場の踏査に出かけました。今日は最初こそ曇がちだったものの、だんだん五月晴れの爽やかな天気となり、折から夏鳥の賑やかな声を聞いているうちにカブ森に到着しました。

C地区ではまず懸案だった入口の新設が話題となり、村上所長から他の散策路との接続も含めて検討していきたいという積極的なお話しがありました。併せて入口付近を暗い印象にしているスギの伐採もお願いしました。ユリノキ、ケヤキ、クスノキ、ナンキンハゼといった高木の扱い、除伐作業によってできたギャップへの植林も話題になりました。B地区では川沿いにまだ残っているアラカシ、タブノキの高木の除伐の必要性、ヤブツバキ除伐に伴うギャップへの植林、親水地として橋の整備、飼育小屋の撤去などが話題になりました。A地区では南西角からの入口の設置について、村上所長に検討をお願いしました。この地区では休憩小屋北側に残っているタブノキなどの高木の除伐、クヌギの間伐の促進を確認しました。今後間伐対象木を

早急に再確認することも提案されました。

昼食後はセンターに戻って、具体的にどんな新5ヶ年計画にするかの検討を行いました。理念については基本的に現行5ヶ年計画を踏襲することとして、その計画を修正していく形で議論を進めました(特集記事参照)。

今後、本日の検討会での議論をもとに鎌田さんが新5ヶ年計画案を作成、6月のうん・えー会に提案されることとなります。

#### 【ふりかえりより】

・久しぶりにカブ森全体を改めて見て、みんなで考えることが出来てよかった。(川内)  
・じっくり森を見ることが出来、今後のビジョンが検討できて良かった。(静間)

5月18日(土)

### カブトムシの森作業(C地区除伐)

9:30~15:00

◆参加者: 林、榊、富永、静間、中嶋 計5名

◆内容: 2日前までの予報に反して五月晴れの絶好のコンディションになったものの、10時まで待って集まったのは何と4名!!それでもやる気満々のメンバーだったので、ほぼ計画通りの除伐が出来た上、新しいヤードの設置にも手を付けることが出来ました。

東屋で準備中に1人到着し、5名になって作業開始。残す木をはっきりさせて誤伐を防ぐ為に、保存対象木に赤テープをつけました。今日の作業区域は散策路の東側で、園芸種のカエデや、ウリハダカエデ、ヤブツバキ、ネズミモチなどを伐採しました。



直径15cm余りのウリハダカエデはクヌギに覆いかぶさるように斜めに成長していて、重心よりは左側に倒す必要があった為、ロープの使用と追い口の調節で対処。見事計画通りの伐採を完遂しました。

昼食中に伐採木の処理が二度手間にならないように、先週のカブ森新五カ年計画検討会で話題となった東側斜面への新たなヤードの設置場所の検討をしようということになり、斜面下にある遊歩道から見上げて目立たない場所を探しました。

午後は本日並びにこれまでに伐採されていた長めの幹を使ってヤードの製作にかかり、時間内にほぼ形が見えてきました。これまでに出了葉のついた枝などは今後の特別活動などで新ヤードへ移せればと思います。今日は、大物を伐採できなかったのが、これらは年度後半に引き継ぎです。

**【ふりかえりより】**

・ウリハダカエデを狙った方向に伐倒することができました。ロープの扱い方も勉強できてよかったです。(中嶋)

**6月9日(土)**

**森を育てる入門講座(森の昆虫観察会)**

**9:00~15:00**

◆参加者:松雪、篠原、徳光、榊、林、本村、富永、新牛込、鎌田(隆)(麗)、川上、宮田(公)(宏)

(陽)(啓) 計15名

◆内容:本日は活動説明会ということで、カブ森の昆虫調査活動を一般向けの昆虫観察会として実施しました。会員3名をリーダーに据え、さらに蝶類に見識のある博多昆虫同好会の江藤俊章氏を招き、各種昆虫に対応していただきました。

参加者はセンターで受付後、小雨のパラつく中、日程説明などしながらカブ森へ移動。途中子どもたちは、管理路に出てきたサワガニやムカデに大盛り上がり!もっと楽しい森へ行くよ~と促しながらカブ森を目指しました。

はじめにC地区の入口で森会メンバーと対面し鎌田代表より挨拶。C→B→A地区を散策してA地区のクヌギ伐倒を見学しました。クヌギが倒れた瞬間子供の一人から「かわいそう…」との声。確かに、大きな木が倒れる瞬間は、木の命を直接的に感じる気がします。今回の伐倒作業見学を通して、参加者の心にもきっと残るものがあったと思います、やって良かったな~と思った瞬間でした。

休憩小屋では、まず江藤氏と会員より油山の昆虫類を紹介。プロジェクターで画像を映しながら解説していただきました。

解説後は昼食。お弁当を食べながら、2月の活動説明会を取材したJCOMの番組を放映しました。午前の伐倒作業見学と併せて、森会の紹介には効果的だったと思います。

午後からはいよいよ昆虫観察。3班にわかれてカブ森内の昆虫を探しました。この時間、ちょうど雨が強くなってきて観察種



は限られましたが、葉の裏で雨宿りをするジョウカイボンや蛾の幼虫など、雨ならではの昆虫の様子を見ることができました。

フィールドでの観察後は、一人一種、捕獲した昆虫を図鑑で同定しました。種名から食草など、調べたことを調査カードに記入。カードは、後日ハガキサイズに編集し、虫の写真と調査者の顔写真を添付して、カブ森の昆虫図鑑を作成します。6月いっぱいまで完成させますので、できあがりをご期待ください!

活動説明会としては、入会の問合せも1組あり、充実した内容になったと思います。運営面で雨天や救急時の対応に課題が残りましたので、次回のお集まりに活かしていきます。

**【ふりかえりより】**

- ・大きなカエルと毛虫がみられて幸せでした。(鎌田麗)
- ・パラパラの雨でしたが、森は疲れを癒してくれます。ありがとう。(徳光)



この他、有志の会員での特別活動が4/17(水)、5/23(木)、6/12(水)に行われました。